

# ■二戸市

## 【H29年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

指定緊急避難場所・指定避難所へ災害種別を案内する看板を設置

平成30年度は、避難所等へ誘導する案内板を予定(図は平成29年度事業分)



## 【H30年度取組内容】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

地域防災訓練や出前講座等を活用した防災意識の向上と持続

平成29年度 福岡小学校と福岡中学校で行われた訓練の様子  
防災士が講師として指導



# ■八幡平市

## 【H29年度取組状況】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

自主防災組織や地域住民を対象とした、  
水害リスクや防災に関する知識の普及

地域住民等に、大雨・洪水災害を含む  
防災出前講座の実施による防災に関  
する知識の普及



## 【H30年度取組内容】

◆避難行動に資する基盤等の整備

住民に対する情報伝達手段の確保

防災行政無線のデジタル化整備



# ■ 葛巻町

## 【H29年度取組状況】

◆ 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

各地域の水防団による水害に備えた  
水防強化のための取組

水防団による土のう設置および三  
角水のう設置などの浸水防止訓練



## 【H30年度取組内容】

◆ 安全な避難行動のための取組

水防団と地域自主防災隊との連携強化  
による住民誘導と幼児教育

総合防災訓練での各種自然災害  
に備えた避難誘導訓練





# ■ 軽米町

## 【H29年度取組状況】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

自主防災組織結成のため講演会の実施

県の地域防災サポーター講師派遣による自主防災組織結成に向けた講演会、31地区73名の参加



## 【H30年度取組内容】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

自主防災会の活動事例の紹介  
地域の危険個所を把握する活動など

自主防災会毎の活動の活性化のため勉強会の開催



# ■九戸村

## 【H29年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

#### 防災マップの作成・住民等への周知

土砂災害警戒区域、浸水区域等の情報をまとめ防災マップを作成し、住民や関係機関へ周知した。

**防災情報の伝達ルート**

**防災関係機関連絡先**

**インターネットを利用したリアルタイム情報提供**

**国災省「防災情報提供センター」**

- パソコンから <http://www.mhl.go.jp/saiga/boosajohar/>
- 携帯電話から <http://www.mhl.go.jp/saiga/boosajohar/index.html>

**いれて防災情報ポータル** - 最新版の防災情報を発信しています

- パソコンで <https://wvate.secure.force.com/>

平成29年3月11日に発生した東日本大震災は北地方に甚大な被害をもたらしました。また、近年、地球温暖化などの影響により全国で大規模な自然災害が発生しています。そこで村では、土砂災害警戒区域、過去の河川浸水状況の情報、緊急避難場所、避難所、消防団の連絡先及び防災関連ページを掲載した「九戸村防災マップ」を作成しました。村では災害対策の充実に向けていますが、住民の皆様は日々の防災対策意識を高めることが、被害を最小限に抑えることにつながります。被害を、目の届くところに実践し、ご家族や地域での防災の話し合いにご活用ください。この冊子を、目の届くところに実践し、ご家族や地域での防災の話し合いにご活用ください。

## 【H30年度取組内容】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

#### 避難勧告等に着目した住民参加による防災訓練の実施

地域住民、水防団(消防団)、関係機関等による総合防災訓練の実施。



# ■ 一戸町

## 【H29年度取組状況】

◆安全な避難行動のための取組

### 防災マップの作成

各種自然災害のリスクを分かり易く  
明示するため防災マップを作成



## 【H30年度取組内容】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

### 消防団等の防災体制強化と自主防災 組織の連携訓練の実施

災害防備機能(自助・共助)の向上  
を目指した訓練の実施





# 盛岡地方気象台

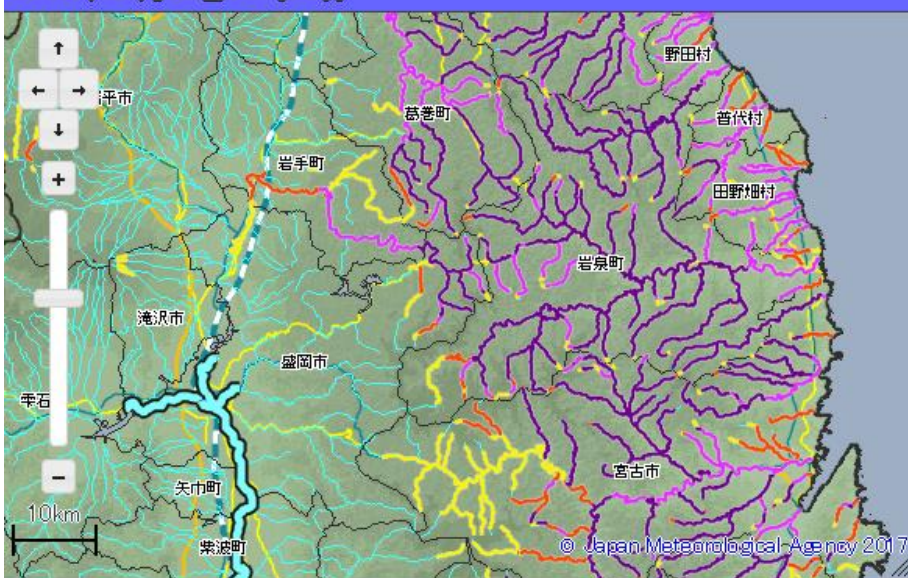
## 【H29年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

近年の局地化・集中化・激甚化する雨の降り方に対応した防災気象情報の提供

洪水警報の危険度分布等、新たな防災気象情報の提供開始

2016年08月30日18時00分



## 【H30年度取組内容】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

市町村との顔の見える関係の維持・継続、防災に関する知識の普及啓発

首長訪問や出水期前の市町村訪問による市町村との顔の見える関係の維持・継続、自主防災組織や地域住民及び児童・生徒等を対象とした防災に関する知識の普及啓発



# ■岩手県総務部総合防災室

## 【H29年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

岩手県風水害対策支援チームを設置し、市町村の避難勧告発令等を支援

平成29年6月に設置、台風接近時に避難勧告発令等を2回助言



## 【H30年度取組内容】

### ◆安全な避難行動のための取組

岩手県風水害対策支援チームの活動の継続、市町村研修への講師派遣

台風等接近時にチーム員を招集し、市町村に対する助言内容を検討





# ■岩手土木センター

## 【H29年度取組状況】

◆河川管理施設の治水機能を正常に保ち、有効に活用する取組

堤防の治水機能を阻害する恐れがある  
立木の伐採撤去

河道内に生育した立木を人力・重  
機等にて伐採撤去した様子



## 【H30年度取組内容】

◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策

洪水時の流れを阻害する恐れがある堆  
積土砂の掘削搬出

バックホウにて掘削した堆積土砂  
をダンプにて積込搬出する



# ■二戸土木センター

## 【H29年度取組状況】

◆河川管理施設の治水機能を正常に保ち、有効に活用する取組

河川の流下を妨げる立木や堆積土砂の伐採や除去を実施

雪谷川筋小軽米地区に繁茂する立木および堆積する土砂



## 【H30年度取組内容】

◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策

改修事業により河川断面を拡大し、流下能力の向上を図った。

馬淵川筋堀野地区河川改修による河積拡大



# 岩手県県土整備部河川課(1/3)

## 【H29年度取組状況】

◆安全な避難行動のための取組

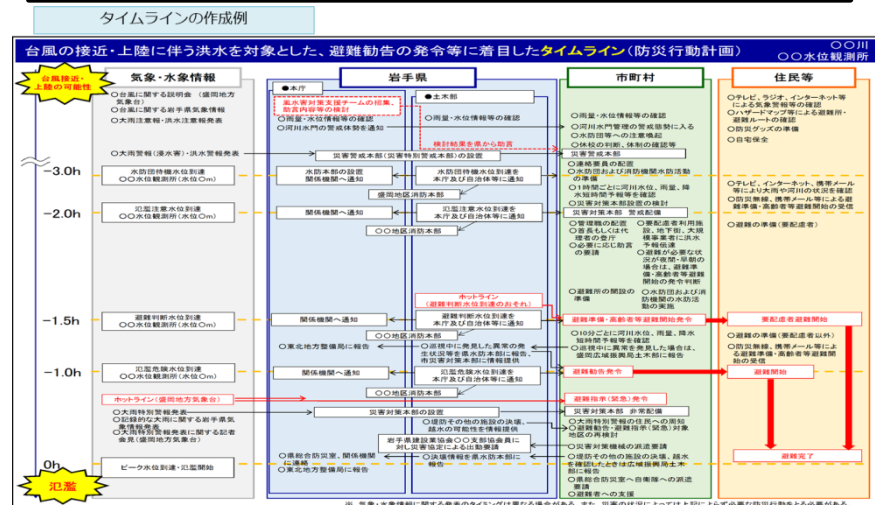
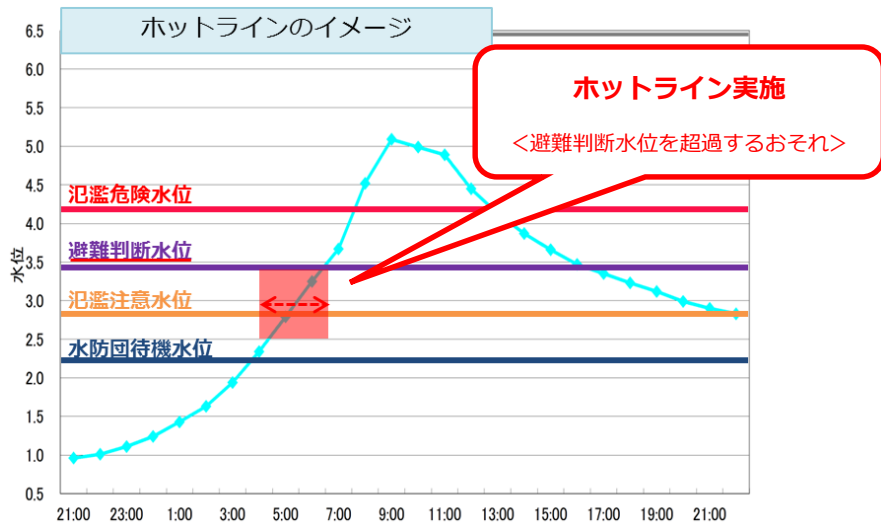
◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## ホットラインの運用

## 水害対応タイムラインの作成

水位周知河川において、河川管理者と市町村長によるホットラインを構築し、水防体制を強化

市町村や盛岡地方気象台等の関係機関と連携して、23河川(うち当圏域4)において水害対応タイムラインを作成



※ 気象・水象情報に関する発表のタイミングは異なる場合がある。また、災害の状況によっては上記に必ずしも必要な防災行動をとる必要がある。



# 岩手県県土整備部河川課(2/3)

## 【H29年度取組状況】

- ◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## 河川監視カメラの設置

水位周知河川に指定済みの河川に、水位監視カメラを設置し、水防体制を強化



## 【H30年度取組内容】

- ◆安全な避難行動のための取組

## 水位周知河川の指定拡大

水位周知河川指定5ヶ年計画に基づき、馬淵川を指定予定

### ○水位周知河川指定5ヶ年計画

	指定河川	
H29	2河川	小本川(岩泉町)、安家川(岩泉町)
H30	13河川	稗貫川(花巻市)、千厩川(一関市)、大川(一関市)、松川(八幡平市)、胆沢川(奥州市)、諸葛川(滝沢市、盛岡市)、雫石川(雫石町)、馬淵川(葛巻町)、北上川(岩手町)、和賀川(西和賀町)、閉伊川(宮古市)、普代川(普代村)、宇部川(野田村、久慈市)
H31	2河川	岩崎川(紫波町、矢巾町)、人首川(奥州市)
H32	3河川	小本川(岩泉町)、安家川(岩泉町)、小烏瀬川(遠野市)
H33		刈屋川(宮古市)、長沢川(宮古市)
合計	20河川	

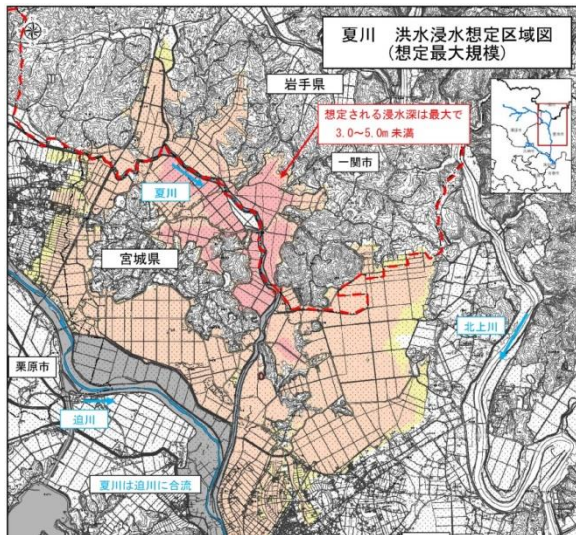
# 岩手県県土整備部河川課(3/3)

## 【H30年度取組内容】

### ◆安全な避難行動のための取組

## 洪水浸水想定区域の指定拡大

洪水浸水想定区域指定5ヵ年計画に基づき、雪谷川、瀬月内川を指定予定



### ◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## 危機管理型水位計の運用開始

危機管理型水位計を県内に約300基(うち当圏域約30基)設置予定

### 洪水時に特化した低コストな水位計(概要)

(参考)

#### 【目的】

洪水時のみの水位観測に特化した低コストな水位計を開発し、都道府県や市町村が管理する中小河川等への普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

#### 【特徴】

- 長期メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減  
(洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減)  
(機器設置費用は、100万円/台以下)
- 維持管理コストの低減  
(洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減)

#### 【現状及び今後の予定】

- 開発12チーム(21者)により機器開発中
- 平成29年8月から、開発した水位計を鶴見川水系鳥山川(横浜市内)に順次設置し、試験的に水位観測を開始
- 計測の確実性及び計測データの精度等を検証
- 平成29年内に機器開発を完了の後、機器特性をとりまとめ公表
- 平成30年より、順次現場へ設置予定

洪水時に特化した低コストな水位計

